

えんちょう先生の わくわくだより

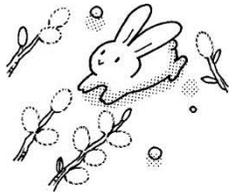
H30. 2. 16 NO. 22

先生ですよ
先生
教育は人ですよ
人

♥恵峰学園初代創設者の言葉を受け継いで五十年

ありがとうございました。

恵峰学園五十周年記念行事「ズーラシアン+弦うさぎ」の公演会に参加して下さった保護者の皆様には、ご苦労様でした。生の音楽や楽器の音色を聞き楽しいひと時でしたね。中津の「杉の子幼稚園」は開園50年、恵那の「雀っこ幼稚園」も後2年で50年になろうとしています。岩村こども園は恵峰の指定管理園となって3年が過ぎましたが、岩村にある唯一のこども園として、50年後にも乳幼児教育の拠点となって、こどもの育ちをしっかりと支えていける園を目指したいですね。この日はズーラシアンの公演後、古田県知事や古屋衆議院議員さんを始め、中津、恵那市長、教育長さん等145名の来賓と職員全員参加で式典と祝賀会が行われました。



こどもの遊びはそんなに大事なの？

「乳幼児期の子供にとって、遊びは大事だね」という事はみんなわかっているけれど、「どうして？」 「何が？」

大人は、机の上の勉強や学習は人を育てる大事な時だと、すぐにわかるけれど、「遊ぶ事」がどうしてそんなに大事なのかは目に見えにくく、解りにくいと思います。乳幼児期の子供達にとっての、特に外での遊びは、小学生の子供達が字を覚えたり、数字を覚えたりするのと同じくらい、いやそれ以上にその基礎を作る大事な学び。ぎこちない指でつまんで落とし入れて、聞こえてくる「ポトン」という音を楽しんだり、木切れで地面が削れる線を喜んだり、土と水の割合で、様々に変化する泥んこのおもしろさを知ったりするその一つ一つの直接の体験が、様々な体の感覚を鍛え、物事を理解したり、興味を広げたりする力になっていくのです。乳幼児期の子供達にとっての「遊び」の時間を私達大人は、もっと理解する事が大事ですね。来年度から変わるこども園の「教育保育要領」の中にも、こどもの遊びは学びに繋がる大事な経験だと述べられています。賢い子を育てたいなら、乳幼児期には、ギュギュと詰め込んでいくより、自分で選んだ遊びを満喫、熱中させる事です。今、園で行っている「すいすいあそぼうデー」はまさにその取り組みの一つと考えています。

寒さになんか負けないぞ！
雪の中でも元気いっぱいの子ども達です。



寒い朝も園庭を走り回りウォーミングアップしてからラジオ体操が始まります。



「勝って嬉しいはないちもんめ〜」掛け合いのわらべ歌あそびで楽しみます

年長さんも年少さんも縄跳びあそび。



「おしくらまんじゅうおされてなくな」背中を合わせてギュギュギュ〜

「色々ぼうや色ぼうや今度の色はどんな色〜♪」と歌いながらの鬼ごっこ。雪の降ったこの日は「白！」と答える鬼が多かったね。

歌 うぐいす
「うめのごえだで うぐいすは はるがきたよと うたいます
ホホ ホケキョ
ホホ ホケキョ
ホホ ホケキョ
さとうきびとようたいます
二、ゆきのおやまを きのうでて
さとうきびとようたいます
ホホ ホケキョ
ホホ ホケキョ
もうすぐ 暖かい春がくるよ



先生が「お部屋に入るよ」と行ってしまった後も「まだ！」と大きな雪だまを押ししていたみんなでした。